

都市再生整備計画 事後評価シート

第1期白潟地区

令和8年2月

島根県松江市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県	市町村名	松江市	地区名	白濁地区			面積	13ha
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	373.1	国费率	50%		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		基幹事業	提案事業	基幹事業	提案事業	基幹事業	提案事業	基幹事業	提案事業
		<ul style="list-style-type: none"> ■道路 (市)和多見天神橋線、(市)松江港線 ■地域生活基盤施設 ■ポケットパーク整備、案内板設置 ■高質空間形成施設 ■緑化施設等(カラー舗装)：(市)和多見2号線、(市)和多見寺町線、(市)和多見天神橋線、(市)松江港線 ■緑化施設等(照明施設)：(市)松江港線、大橋川河川敷地 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域創成支援事業 ■出店基盤整備、住宅等修景支援 ■まちづくり活動推進事業 ■まちづくり委員会への専門家派遣、社会実験 						
	当初計画から削除した事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地域生活基盤施設 ■ポケットパーク整備、案内板設置 ■高質空間形成施設 ■歩行者空間美装化 (市)和多見天神橋線、(市)松江港線 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域創成支援事業 ■出店基盤整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域生活基盤施設 ■ポケットパーク整備、案内板設置 ■高質空間形成施設 (市)和多見天神橋線、(市)松江港線 ■関連事業の大橋川改修との事業間調整から、対象事業の整備が困難となったため、次期計画に見送ることとなった。 	影響なし				
	新たに追加した事業	なし	なし						
	交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度	変更	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	遊休不動産の事業化件数	件	0	R2	3	R6	11	○	あり	大橋川改修の着手を始め、白濁本町通りの事業化、都市構造再編集中支援事業の実施等により、まちづくりの見直しから当該エリアの魅力につながったものと考えられる。	
	指標2	歩行者・自転車通行量	人・台/日	2,080	R2	2,080	R6	1,974	△	あり	工事が継続しているなかでも、歩行者通行量は増加している一方で、自転車通行量が低下し、目標数値の達成できなかった。	
	指標3	まちなみ景観の満足度	%	42.5	R2	42.5	R6	54	○	あり	大橋川改修の着手を始め、白濁地区地区計画策定や住宅等修景支援により景観形成が図れ、満足度上昇に寄与したものと考える。	
	指標4									あり		
	指標5									あり		

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											

4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ■本事業を実施するにあたり、白濁地区まちづくり委員会が中心となり、行政との窓口を担い、事業推進に大きな協力を得ることができた。 ■景観舗装の整備により、快適な歩行空間の改善が図られるとともに、歩きやすくなるまちの景観形成の向上に寄与した。 ■歴史的まちなみと調和した景観の保全のための白濁地区地区計画の策定や個人宅への修景補助金により良好なまちなみ形成が図れた。
---------------	---

5) 実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等	
		実施内容	実施状況	今後の対応方針等	今後の対応方針等
	モニタリング	事業期間中に中心市街地の通行量や令和5年度に景観形成に関する満足度の調査を実施し、状況を確認した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も中心市街地の通行量調査に基づき、エリアの活性化状況を把握する。
	官民連携による取組	当該エリアの町会長や商店街役員などを中心とした白濁地区まちづくり委員会の意見交換や行政との窓口役をになって頂き地区住民との意見調整を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も白濁地区まちづくり委員会を開催し、官民連携による取組状況や第2期計画に関して意見交換を行う。また、新しく設立した都市再生推進法人(まつくる)との連携を図る。
	持続的なまちづくり体制の構築	白濁地区まちづくり委員会を中心に各町内の良好なまちづくりや賑わい創出を目指して活動を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も白濁地区まちづくり委員会を中心とし、各町内のまちづくり及びエリアの賑わい創出を図るとともに、新しく設立した都市再生推進法人(まつくる)との連携により、持続可能なまちづくりの体制構築を図る。

様式2-2 地区の概要

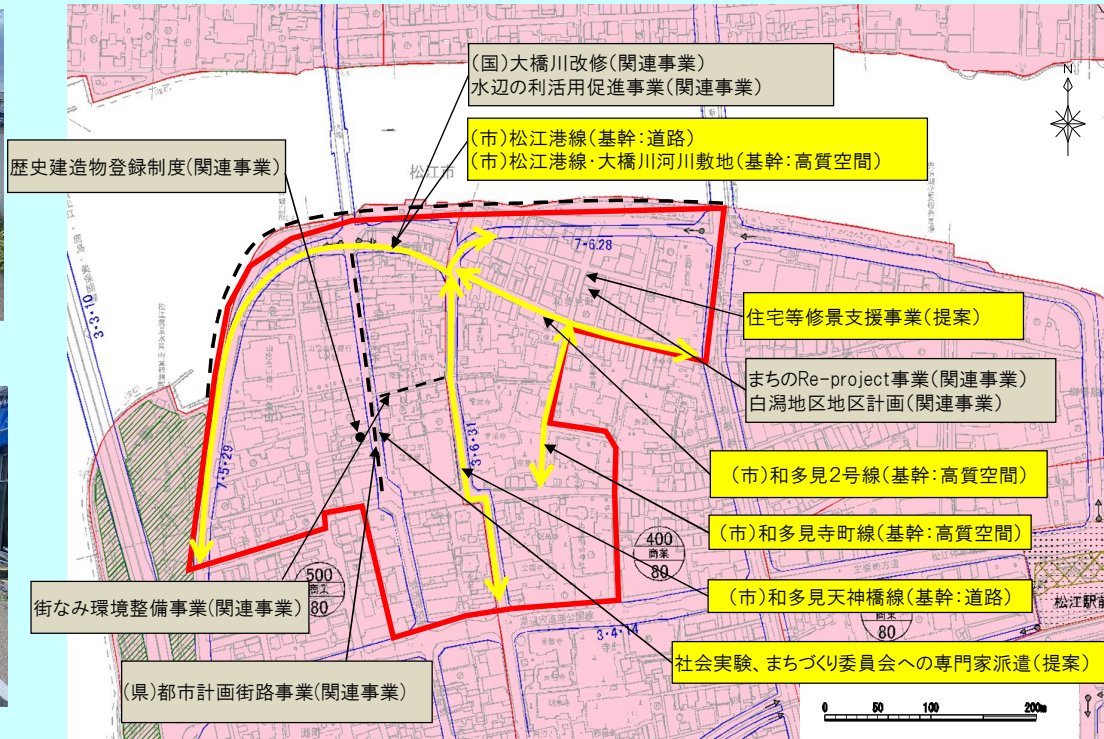
白潟地区(島根県松江市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 水辺空間と既存ストックの活用により、市民や観光客が訪れたい魅力的なエリアとし、中心市街地の回遊性向上、賑わい創出を図る 目標1 既存ストックと水辺空間の活用により魅力的なエリアの創出 目標2 地域資源を巡るまちあるきルートの創出 目標3 水辺や都市的空間と調和した、落ち着いたあるまちなみの形成	遊休不動産の事業化件数	単位:件	0	R1	3	R6	11	R6
	歩行者・自転車通行量	単位:人・台/日	2,080	R1	2,080	R6	1,974	R6
	まちなみ景観の満足度	単位:%	42.5	R1	42.5	R6	54	R6



(市)和多見寺町線



(市)和多見2号線



白潟本町通り社会実験(令和3年)



乗船社会実験(令和5年)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業実施に伴い地域が活性化されるまちづくりイメージが描けたことで、遊休不動産の事業化件数増につながった。 ■ 歩行者空間が美装化され、快適な歩行空間の創出が図れた。 ■ 地区計画や住宅等修景支援に伴いまちなみ景観が保全された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各町内の良好なまちづくりや賑わい創出につながる取り組みについて、町内会等関係組織を中心として推進する。 ■ 大橋川改修などと調整を図り、早期完成に務める。第2期計画で安心・安全で快適かつ景観に配慮したまちあるきを楽しめる歩行空間や滞留空間の環境整備を進めていく。 ■ 地域住民や民間と協働し、不動産や商店街など出店しやすい環境の整備や活用を行っていく。